

地域包括ケアネットワーク No.32

岡山市医師会と岡山市が主導する訪問診療研修会について

岡山市医師会理事 片岡 廉

在宅医療を広める一環として、岡山市医師会は訪問診察医の育成や支援を目的に、岡山市から委託を受けた研修事業を3年前から開催しております。平成26年度は「スタート支援研修会」として、在宅診療に必要なとされる技術および知識を習得できるようにする内容の研修会が実施されました。その具体的な研修内容は、在宅医療を実践するにあたって必要な技能や臨床倫理、在宅医療の困難事例検討、在宅看取りの諸問題、市内病院における在宅医療・介護関連カンファレンスなどで、訪問診療を実践する上で医師が習得すべき基本的な研修内容となっていました。平成27年度にはさらに内容を充実させ、一段階上の訪問医療を目指して「岡山市訪問診療ステップアップ研修会」として開催されました。第1回「緩和ケア」を皮切りに、第2回「摂食嚥下障害への対応」「嚥下機能の改善につながる口腔ケア」、第3回「心臓病センター榊原病院における在宅医療・介護連携カンファレンス」、第4回「多職種連携による栄養管理－管理栄養士の立場から－」「スマイルケア食について」、第5回「グループホームへ退院された、前立腺がん末期患者の支援について」「利用者のエンド・オブ・ライフケアをどのように捉え、支援できるか」、第6回「川崎医科大学付属病院における在宅医療・介護連携カンファレンス」、第7回「がんターミナルにおける謔妄の対応」、第8回「在宅業務における服薬支援の実例と連携」「がん在宅看取りにおける訪問薬剤師の役割」、第9回「口腔ケア(その2)誤嚥性肺炎と在宅看取り」、第10回「在宅における心不全のみかた－適切な対応と指示の出し方－」、第11回「岡山ろうさい病院における在宅医療・介護連携カンファレンス」、第12回「施設での看取りの現状とこれからの取り組み～看取った命からの学び～」、第13回「岡山市市民病院における在宅医療・介護連携カンファレンス」、第14回「地域包括ケア病棟の利用状況と今後の問題点」、第15回「岡山赤十字病院における在宅医療・介護連携カンファレンス」、以上の15回が開催されました。これらの研修会では、在宅医療に携わる医師だけでなく、病院医師、訪問看護師、薬剤師、歯科衛生士などの多職種も参加し、小グループディスカッションや全体討論会などを通して、各職種間の垣根を超えた白熱した討議が毎回なされてきました。平成28年度はさらなる訪問診療の質的向上を目指して「訪問診療スキルアップ研修会」と改めて開催しており、第1回「心不全の病態・治療そして病診連携」、第2回「在宅看取りが可能となる在宅医のかかわり方とは」、第3回「在宅患者の肺炎を入院せずに治すには？」が開催されております。今年度は合計9回の研修会の開催を予定しており、岡山市でのさらなる在宅医療の浸透と内容の充実を、行政と連携しながら市医師会が積極的に推進し、地域包括ケアのネットワークの構築を一層図っていく所存であります。